

お知らせ

本教会へ初めて来られた方々を
心から歓迎いたします。
「毎月最初の主日には聖餐式を行います。」

教会の働き

■ 本日は「奉仕デイ」として、教会周辺の草取りをタ方礼拝後に行います。ぜひご協力をお願いいたします。
心を合わせて教会を美しく整えましょう。

■ 昨日は花の日の行事として、教会学校の子どもたちが「みつばさレジデンス飯田(サ高住)」を訪問し、高齢者の皆さまと温かい交わりの時を持ちました。(歌の発表、ふれあい・遊び、お花のプレゼント)

■ 三分ブリッジ伝道法を共に学びましょう！

教会では、誰でも簡単に福音を伝えることができる「三分ブリッジ伝道法(3-Minute Bridge)」を、教会全体で覚えて実践していくことを目指しています。この伝道法は、短く(約 3 分)、分かりやすく、聞く人の心に届く福音の要点を伝える、非常に効果的な方法です。今後、学びの機会や実践の時間も設けていきますので、ぜひ皆さんで覚えて、福音の橋をかける器として用いられましょう。

聖徒の為に祈りましょう。

- ・コロナとインフルエンザから守られますように。
- ・施設に入られている方々の生活が守られる為に。
- ・YouTube ライブで、礼拝している教会と聖徒の皆さんの為に。(大阪ホームチャーチ、相模原の佐々木こずえ執事の家庭など)



光の実を結ぶ人生
エペソ人への手紙 5:8~14

8 あなたがたは以前は闇でしたが、今は、主にあつて光となりました。光の子どもとして歩みなさい。9 あらゆる善意と正義と真実のうちに、光は実を結ぶのです。10 何が主に喜ばれることなのかを吟味しなさい。11 実を結ばない暗闇のわざに加わらず、むしろ、それを明るみに出さなさい。12 彼らがひそかに行っていることは、口にするのも恥ずかしいことなのです。13 しかし、すべてのものは光によって明るみに引き出され、明らかにされます。14 明らかにされるものはみな光だからです。それで、こう言われています。「眠っている人よ、起きよ。死者の中から起き上がれ。そうすれば、キリストがあなたを照らされる。」

来週礼拝奉仕者

主日礼拝 韓芽唯(賛美リーダ) 高木はつ江(祈祷)

タ方賛美礼拝 韓芽唯(賛美リーダ) 北原明子(祈祷)

水曜礼拝 松島スヤンティ(司会) 高木はつ江(祈祷)

礼拝時間案内

主日礼拝	AM 11:00
タ方賛美礼拝	PM 2:30
教会学校(小学生まで)	AM 9:50~10:30
水曜礼拝	PM 7:00
祈祷会・火・木曜日	PM 8:30~9:30
土曜日	PM 8:00~9:00

週報 2025-25 号

2025.6.22

神の国とその義を
第一に求める

宗教法人 イエス・キリスト

飯田福音教会



395-0807 飯田市鼎切石 3883-4

TEL 0265-56-8286

www.iidahc.com

牧 師 柳 承吉(ヤナギ ショウキチ)

副牧師 柳 智愛(ヤナギ チエ)

主日礼拝		AM 11:00～
	賛美リード	柳澄香
信仰告白	(使徒信条)	
代表祈禱		平澤寿子
特別賛美	インマヌエル聖歌隊	
お知らせ		
聖書箇所	エペソ人への手紙 5:8-14 (光の実を結ぶ人生)	
メッセージ		柳承吉牧師
賛美	神の家族	
祝 禱		柳承吉牧師

夕方賛美礼拝		PM 2:20～
	賛美リード	柳澄香
代表祈禱		北原孝子
聖書箇所	マタイの福音書 8:5-13	
メッセージ		柳承吉牧師
	(信じた通りになりなさい。)	
主の祈り		

水曜礼拝		PM 7:00～
司 会		韓芽唯
代表祈禱		北原孝子
聖書箇所	ローマ書 6:6-11	
メッセージ		柳 承吉牧師
	(ローマ書 6 章の概略-3)	

今週の御言葉	
光の実を結ぶ人生 エペソ人への手紙 5 章 8～14	
本日の御言葉は、私たちがかつては闇であった者たちが、今や主にあって光となったという驚くべき宣言から始まります。「あなたがたは以前は闇でしたが、今は、主にあって光となりました。光の子どもとして歩みなさい。」(8 節) これは単なる比喩ではなく、私たちのアイデンティティの根本的変化を表しています。 暗闇の中にいた者が、光の中を歩む者とされたのです。そして主は、光の子どもとしての私たちに、光の実を結ぶことを求めておられます。	

1. 善意の実 — 隣人の益を求める生き方

「光は、あらゆる善意と正義と真実のうちに実を結ぶのです。」(9 節) ここでの「善意(アガトシュネー)」は、自分の利益ではなく、隣人の益を求める態度を指します。善の反対は「悪」です。悪しき人は利己的で、他人を思いやることなく、自分の都合だけで人を利用します。しかし、私たちは善なる神を模倣し、悪を善で返す者とされるよう招かれています。

あなたの人生には、善意の実が見られるでしょうか？

2. 正義の実 — 神との関係に基づくまっすぐな歩み

善意が人間関係における実ならば、正義は神との関係から始まる実です。私たちはイエス・キリストを信じることによって、罪人から義とされました。これは法的な意味合いを持つ神の宣言であり、私たちに新しい生き方を要求します。ローマ書 1 章 18 節には、「というのは、不義によって真理を阻んでいる人々のあらゆる不敬虔と不

義に対して、神の怒りが天から啓示されているからです。」 不義の原因は「不敬虔」、つまり神を恐れないことにあります。逆に、神を恐れ、常にその御顔を意識する人は、正義に歩むのです。私たちがまっすぐで正しい、義の実を結ぶ人生を送ることができますように。

3. 真実の実 — 隠すことのない透明な生活

神は真実なお方です。そしてその真実は、私たちの生活の中で偽りを排除し、誠実に生きようと導きます。サタンは「偽りの父」と呼ばれます(ヨハネ 8:44)。かつてその支配下にあった私たちは、今や真実な父なる神の子どもです。光が闇に射し込むと、隠されたものがすべて明るみに出されます。そのとき、私たちには 2 つの選択肢しかありません。

- ・光を避けて逃げるか、
- ・光の中でさらけ出され、悔い改めて透明な人生を歩むか。

真実の実とは、もはや隠すことのない、主の御前で清い生活を目指す生き方なのです。

主を喜ばせる実を結ぶ

私たちが善意・正義・真実の実を結ぶのは、単なる道徳的生活のためではありません。それは主を喜ばせるためです。「何が主に喜ばれることなのかを吟味しなさい。」(10 節)

吟味するとは、実際の行動で主に喜ばれることを選び取ることです。私たちの人生の選択が、主の御心になっているかを常に問うことです。

主は言われます。「立ち上がれ。光を放て。光の子どもとして生きよ。善意と正義と真実の実を結べ。」 この実が、私たちの家庭に、教会に、そして次の世代に至るまで、豊かに光の実を結ぶことを心から祝福いたします。